

# コロナ＋インフルエンザに向けて ～小児の診療をどうするか～

第11回新型コロナウイルス感染症に関する連携会議

2022年12月9日(金)

国保旭中央病院小児科  
北澤克彦

スライドの無断転用はお控えください

発表内容には個人的見解も含まれています

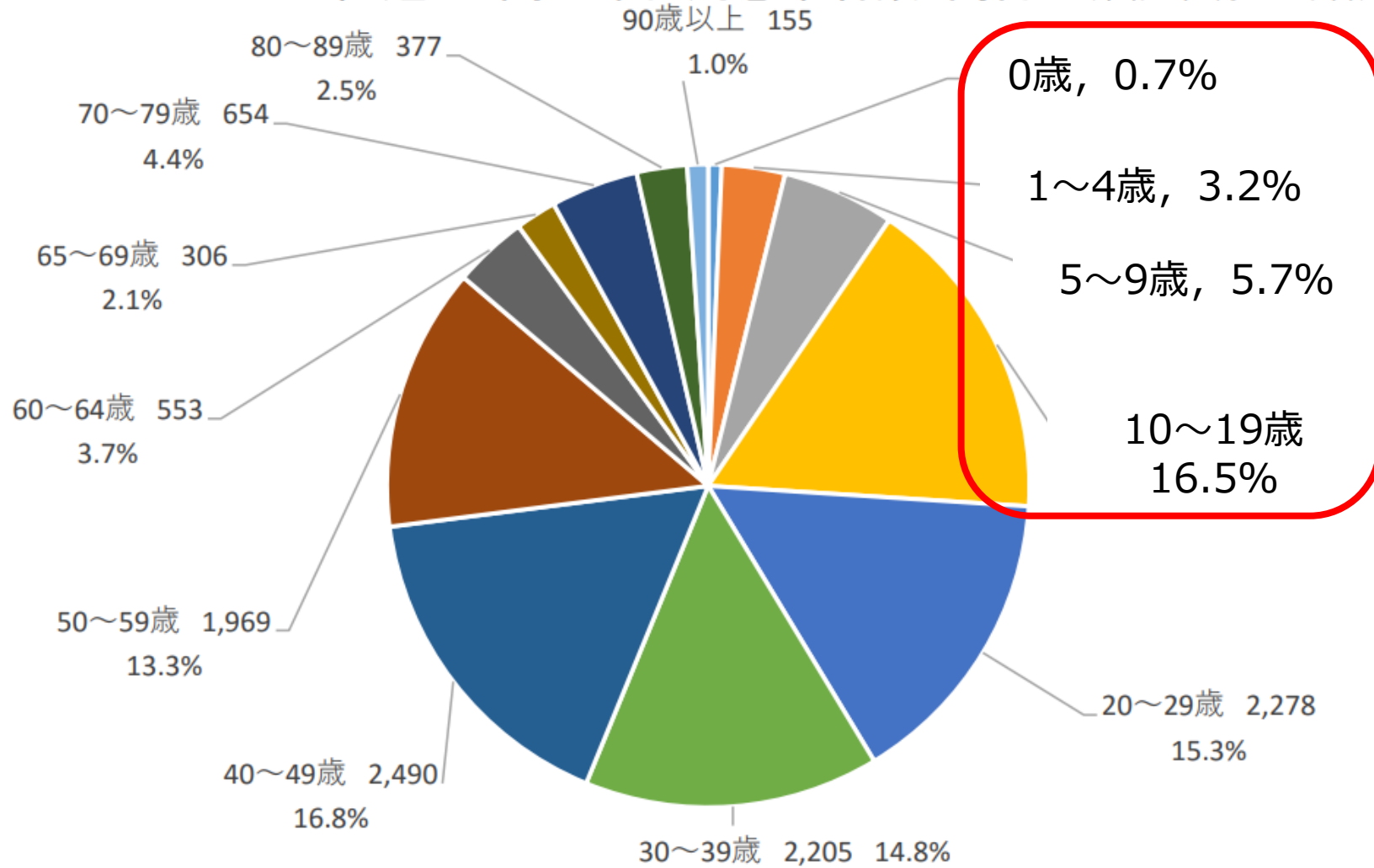


# もくじ

1. 小児COVID-19の現状
2. 小児COVID-19罹患後の発熱に関する注意点
  - (1) 再感染
  - (2) 小児多系統炎症性症候群（MIS-C）
3. その他の感染症
4. 市内保育士さんからの質問&回答

# 小児COVID-19の現状 (1)

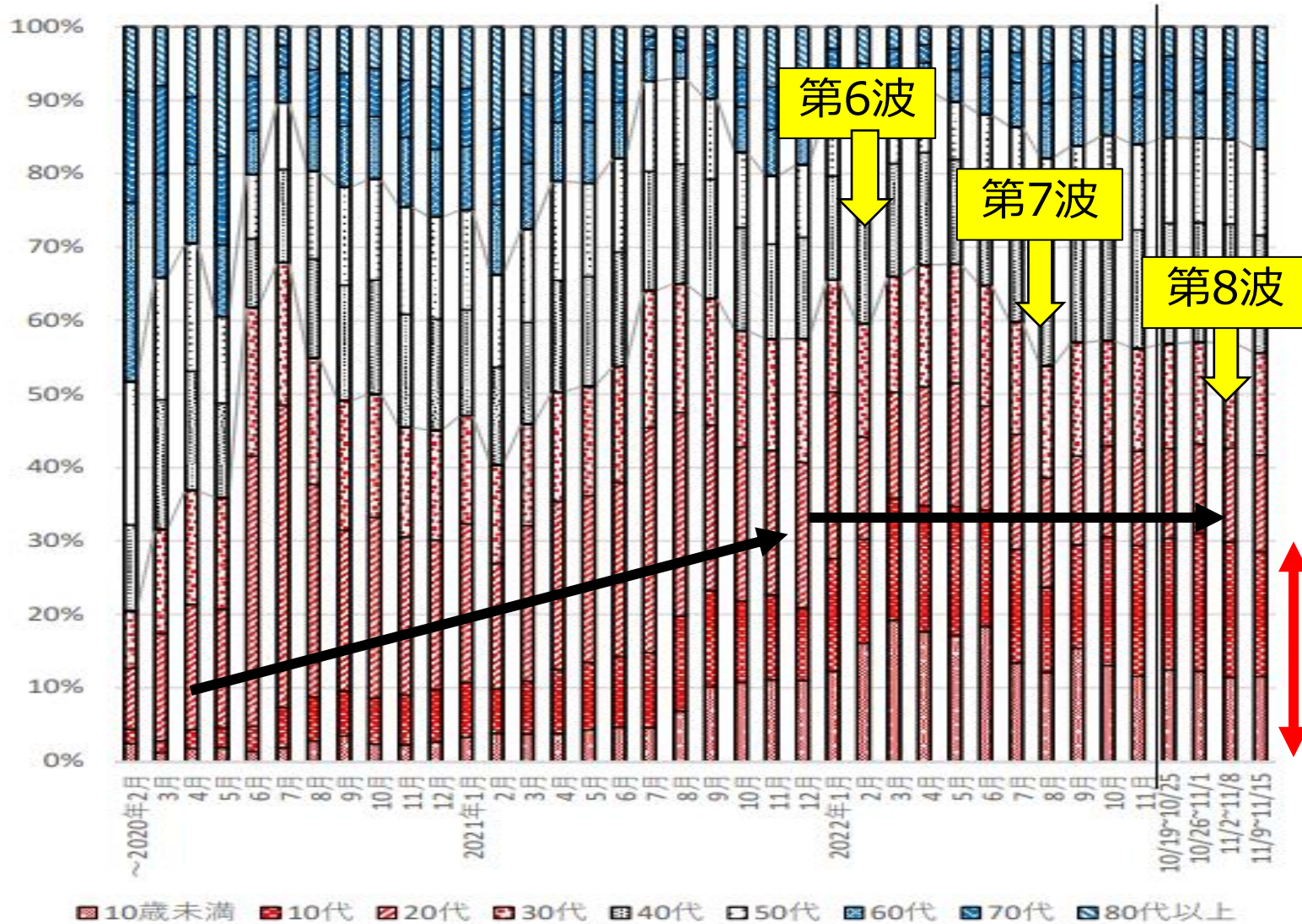
直近7日間の年代別感染者数・割合 (令和4年9月27日以降)



小児  
約25%

# 小児COVID-19の現状 (2)

年齢階級別新規陽性者数の構成割合の推移



オミクロン株への置換  
↓  
小児例増加そして横ばい

小児  
約25%

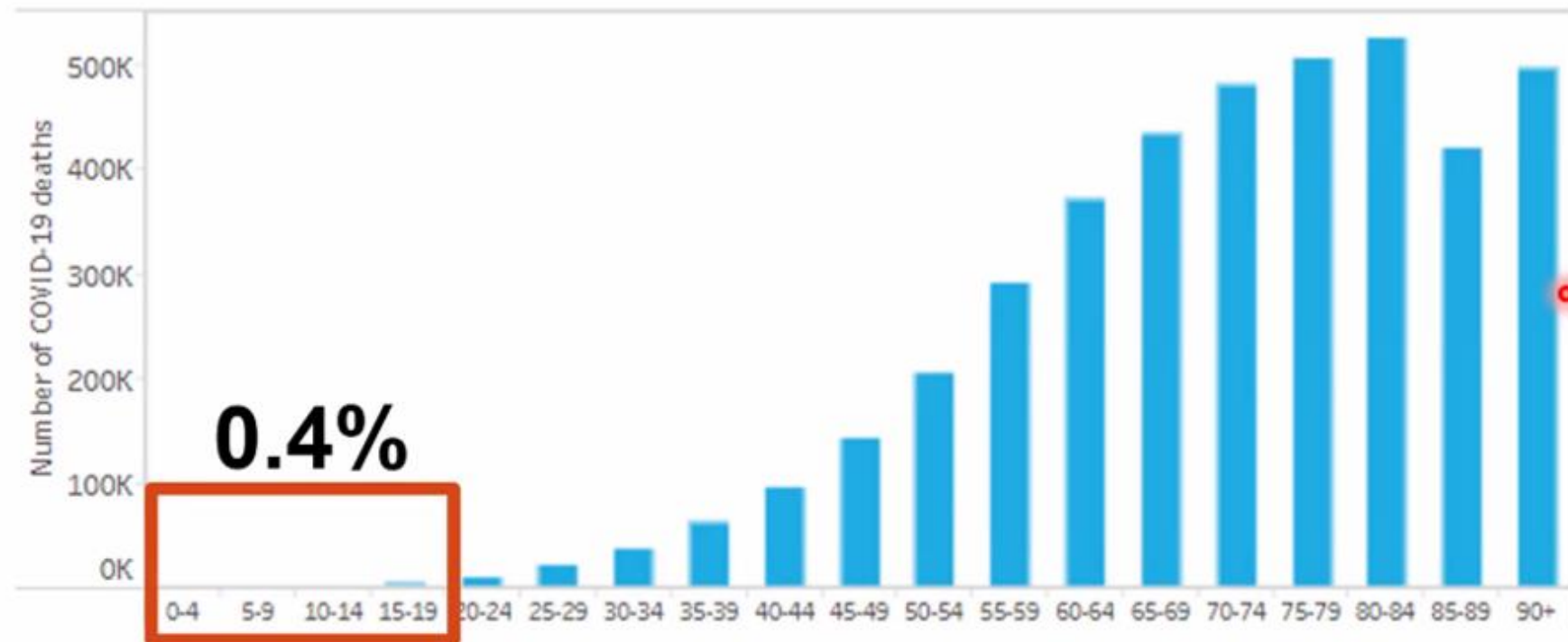
千葉県HPより

# 小児COVID-19の現状 (3)

小児COVID-19死亡者数は世界的にも少ない (~2022年7月)

COVID-19 deaths by 5-year age groups (in numbers) in 91 countries

Select year





# 小児COVID-19の現状 (4)

国内では小児COVID-19重症例・死亡例の増加 (2022年7月~)

死亡者数 (累積)

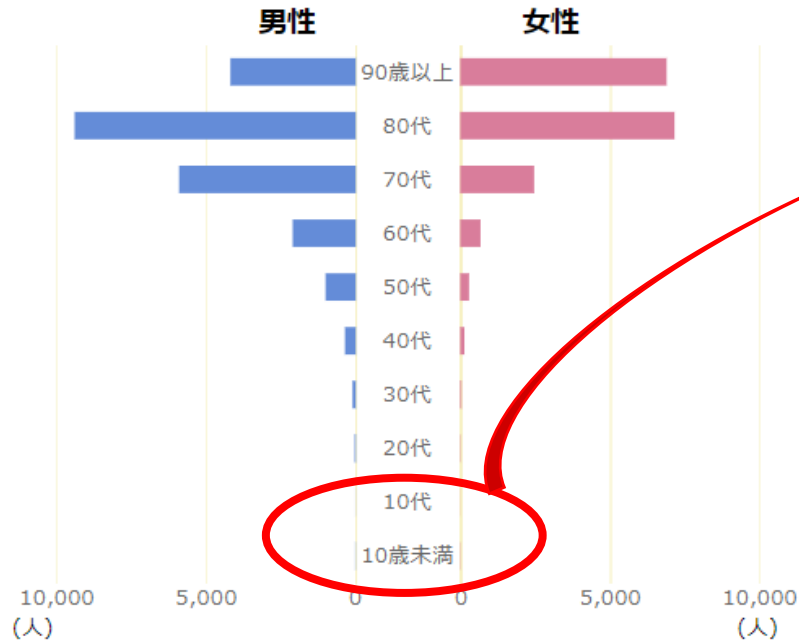
重症例(累積)

	<10 歳	≧10 歳		<10 歳	≧10 歳
2021/6/22	0	0	2021/6/22	2	2
2021/11/2	0	3	2021/11/2	6	6
2022/1/25	0	4	2022/1/25	8	6
2022/7/26	8	9	2022/7/26	98	49
2022/10/30	<b>27</b>	<b>12</b>	2022/10/30	<b>155</b>	<b>71</b>

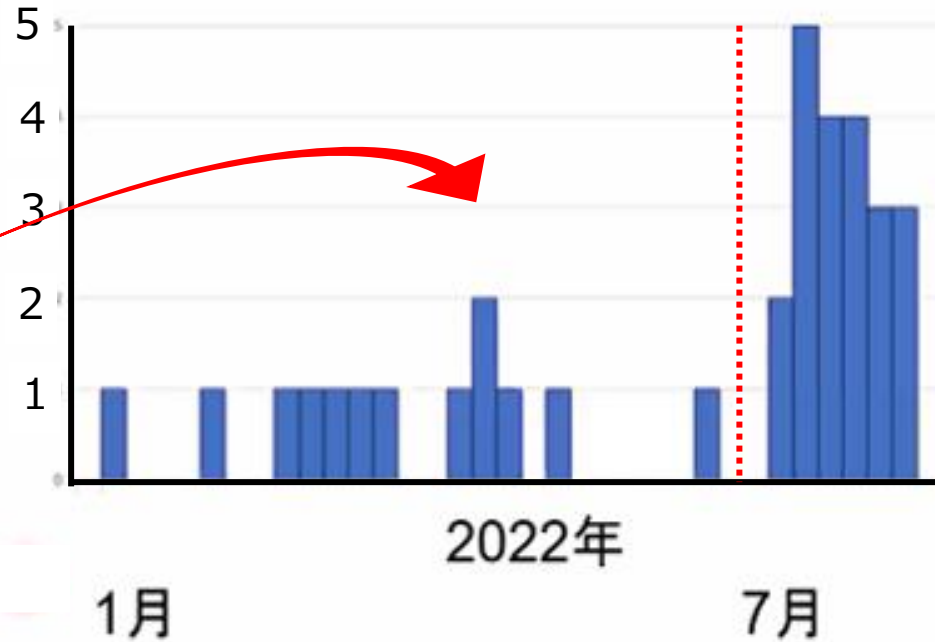
# 小児COVID-19の現状 (5)

## 性別・年代別死亡者数 (累積)

情報更新日(週次)：2022年11月29日



## 国内小児COVID-19死亡34例



国立感染症研究所HPより

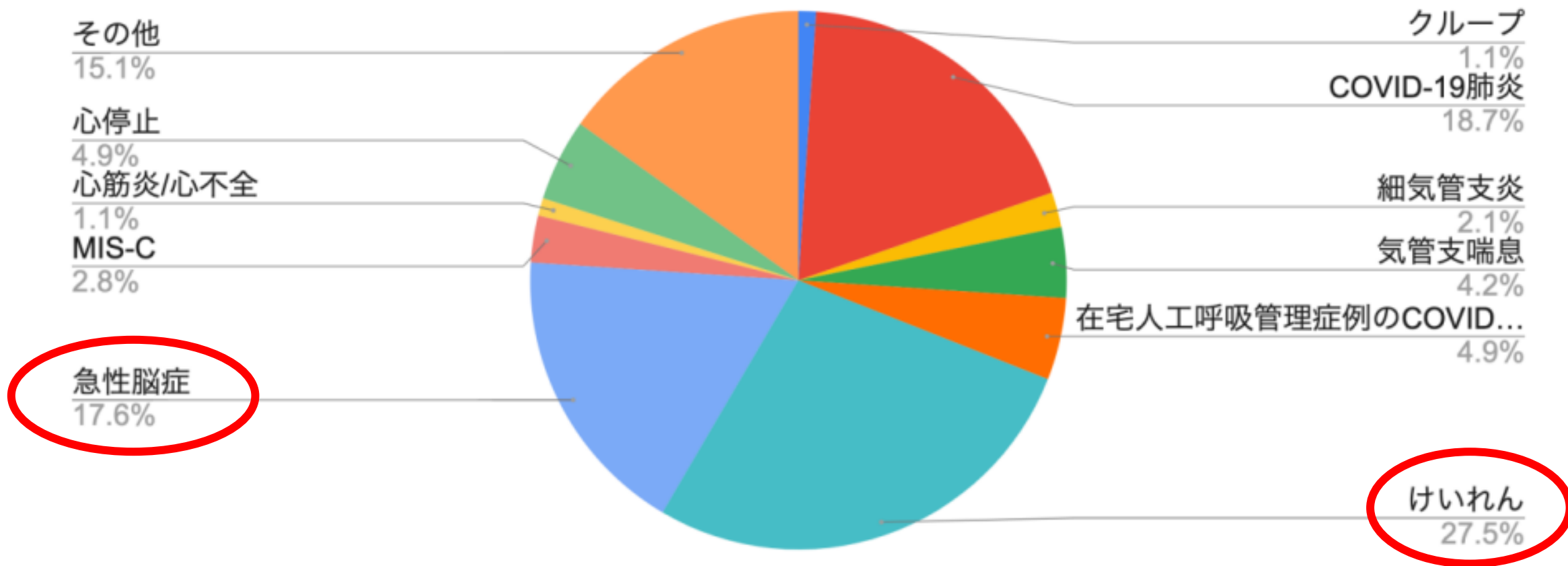
- 年齢：～4歳 44%
- 基礎疾患なし：56%
- 死亡原因 (29例)
  - ・ 心筋炎・不整脈 7例
  - ・ 急性脳症 7例
  - ・ 肺炎 3例
- 73%が6日以内に死亡

# 小児COVID-19の現状（6）

## 第7波小児COVID-19中等症以上284例の入院理由

<入室理由>

第7波

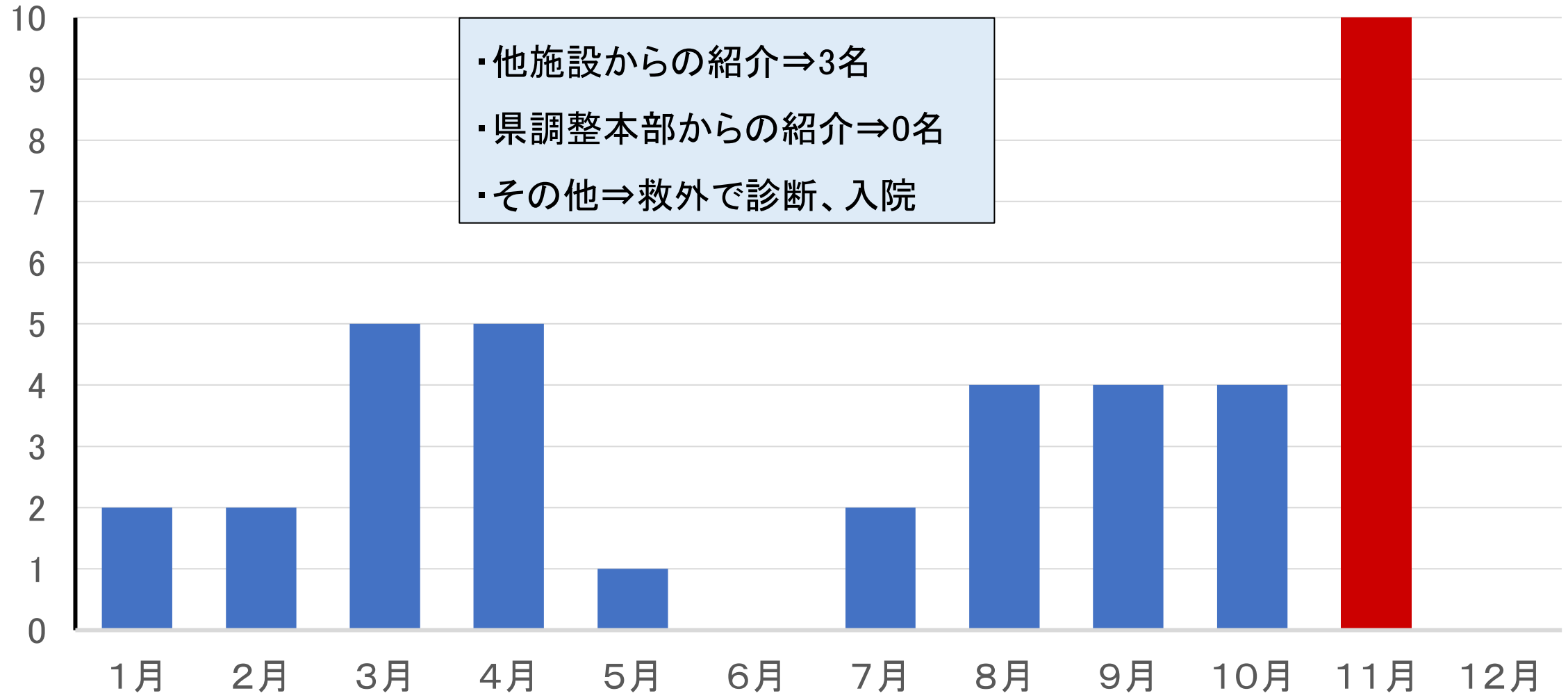


日本集中治療学会HPより



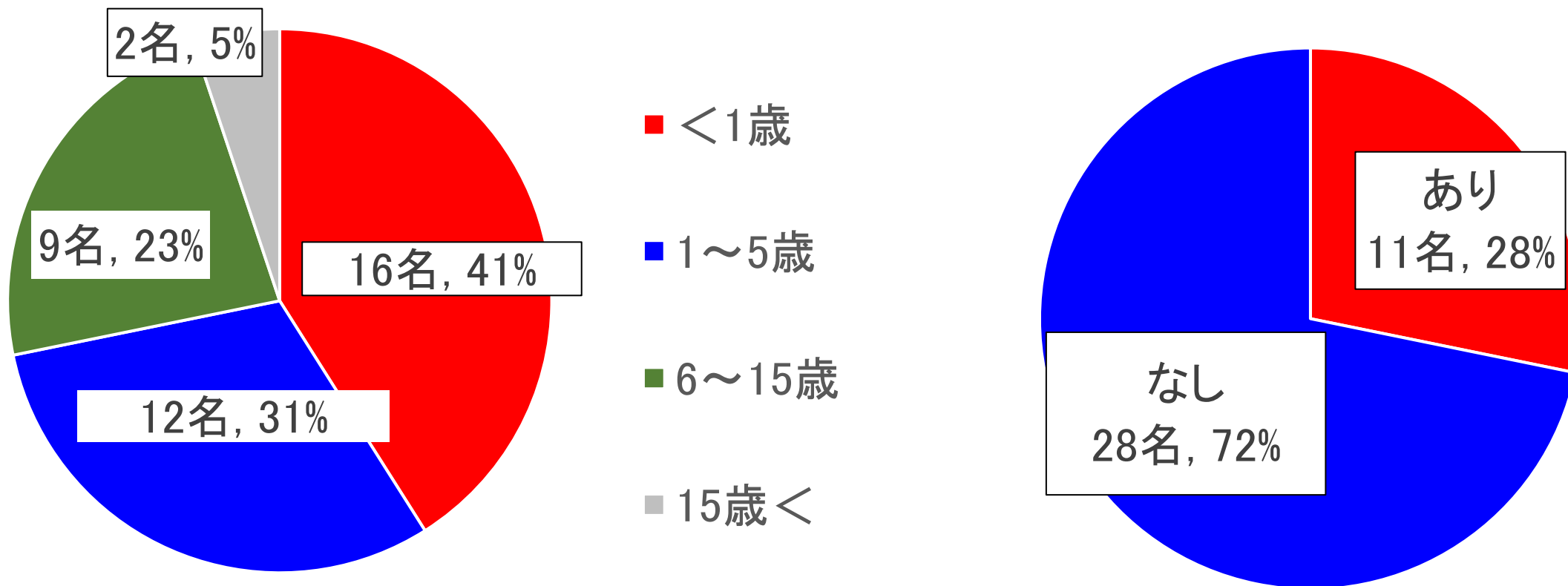
# 小児COVID-19の現状 (7)

2022年COVID-19入院39名 (国保旭中央病院小児科)



# 小児COVID-19の現状 (8)

- 当院小児科に入院したCOVID-19 39名の年齢と基礎疾患



# 小児COVID-19の現状（9）

## 小児COVID-19入院患児39名の合併症（11名）

合併症	患者数	備考
熱性けいれん	4	2名はけいれん重積
クループ	2	いずれも重症, 1名は人工呼吸管理
尿路感染症	2	
関節炎	1	専門施設に転院
ネフローゼ再発	1	
周期性嘔吐症候群再発	1	

# もくじ

1. 小児COVID-19の現状
2. 小児COVID-19罹患後の発熱に関する注意点
  - (1) 再感染
  - (2) 小児多系統炎症性症候群 (MIS-C)
3. その他の感染症
4. 市内保育士さんからの質問&回答

# 小児COVID-19再感染

- 第6波と第7波で2回コロナに罹患した小児を複数例経験
  - オミクロン株では初回感染後1か月以上経過⇒再感染の可能性
  - 成人では1年間に4回罹患した報告
  - 成人では再感染は軽症？重症化？ 小児は不明
- 
- インフルエンザでも・・・
    - 1シーズンに2度、3度罹患する人

# COVID-19関連小児多系統炎症症候群 (MIS-C)

Multisystem Inflammatory Syndrome in Children (MIS-C)

ミスシー  
子供がまれに発症 **MIS-C** (小児多系統炎症性症候群)

コロナの発症・濃厚接触後 2~6週間後に突然発症

川崎病に類似

**MIS-C** さらに重症

- ・心臓の機能低下
- ・血液が固まりやすくなることも



自治医科大学付属病院によると… 3人入院し 約10日で退院

東海テレビ オンラインニュース (2022年8月3日)

**MIS-C**(小児多系統炎症性症候群)

解説:自治医科大学附属病院  
松原大輔 医師

コロナの「合併症」と考えられる新しい病気

発症

- ・10歳前後の子ども
- ・コロナ感染や濃厚接触の2~6週間後

発症者数



約8800人が発症 約70人死亡 (アメリカCDC)



松原先生によると…  
発症「まれ」だが ここ半年で増えている印象

東海テレビ オンラインニュース (2022年8月14日)



# COVID-19関連小児多系統炎症症候群 (MIS-C)

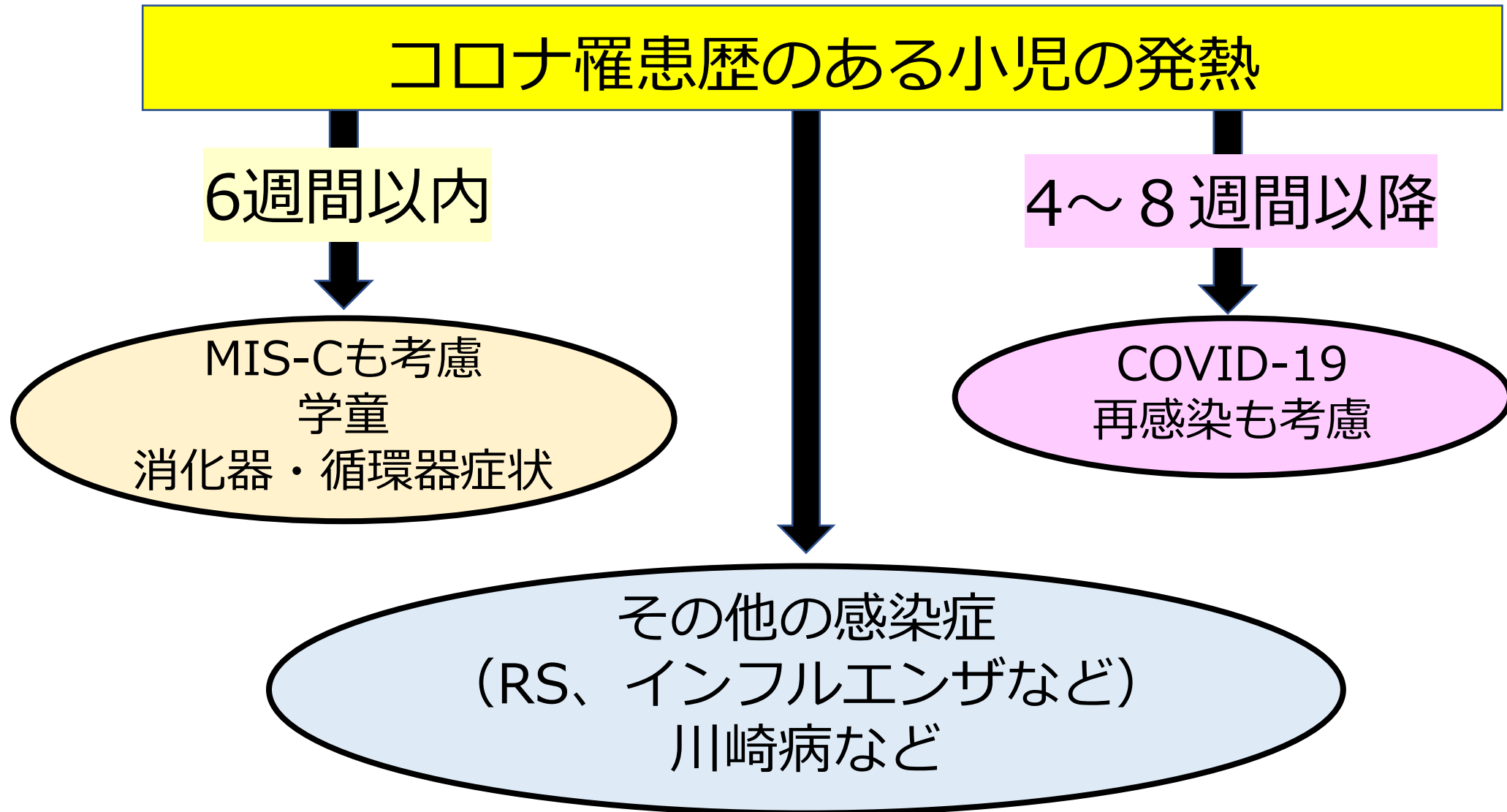
## ●WHOの診断基準

- ・年齢: 0～19歳
- ・発熱: 3日以上
- ・その他の症状 以下の2つ以上
  - ①発疹, 結膜炎, その他の粘膜皮膚症状
  - ②低血圧またはショック
  - ③心臓の障害
  - ④凝固障害
  - ⑤急性消化器症状
- ・検査で炎症所見, COVID-19既往の証明, 感染症の除外

## ●特徴

- ・COVID-19後2～6週で発症
- ・年齢中央値 9歳
- ・川崎病に類似
- ・小児COVID-19 1万人に3人
- ・約6割が集中治療室で治療
- ・致死率 1.4%

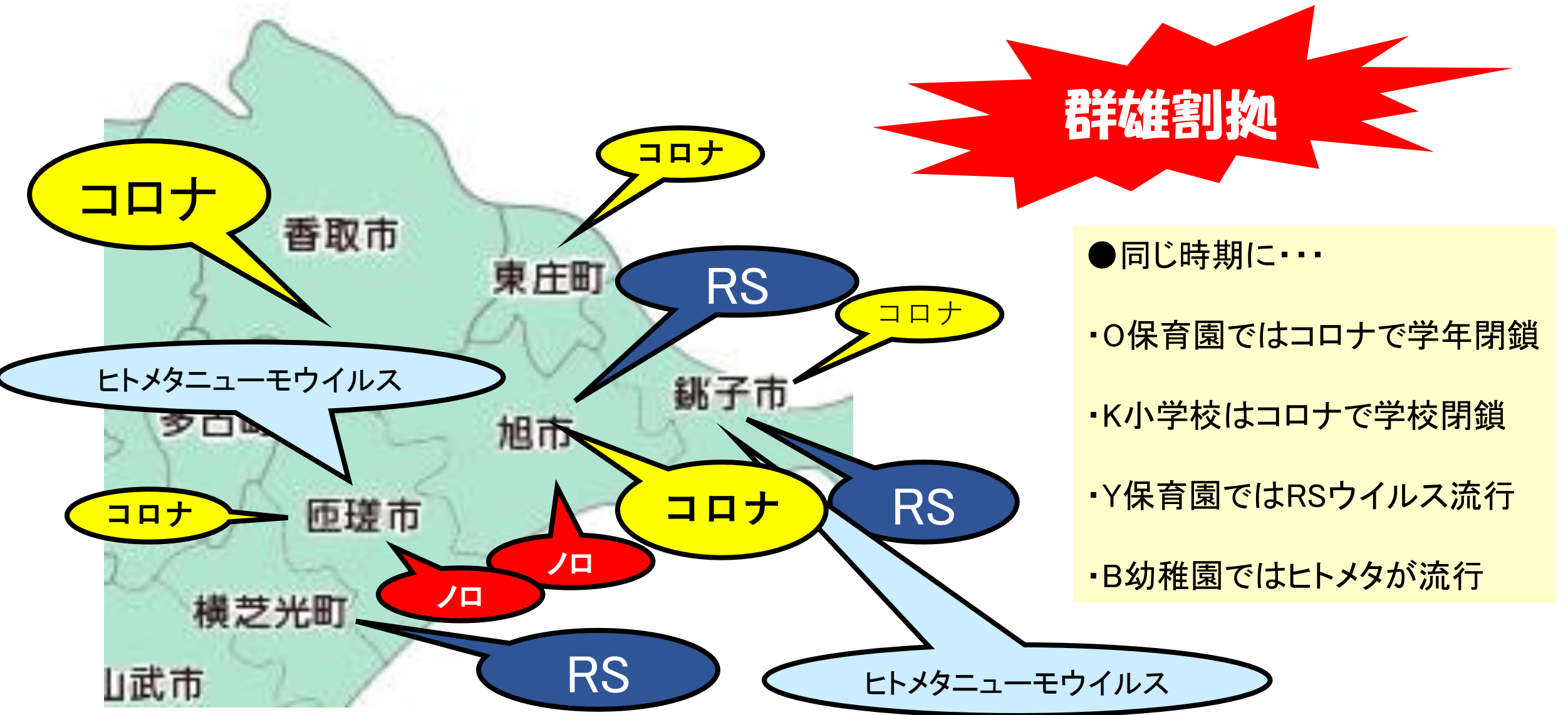
# コロナ罹患歴のある小児の注意すべき発熱



# もくじ

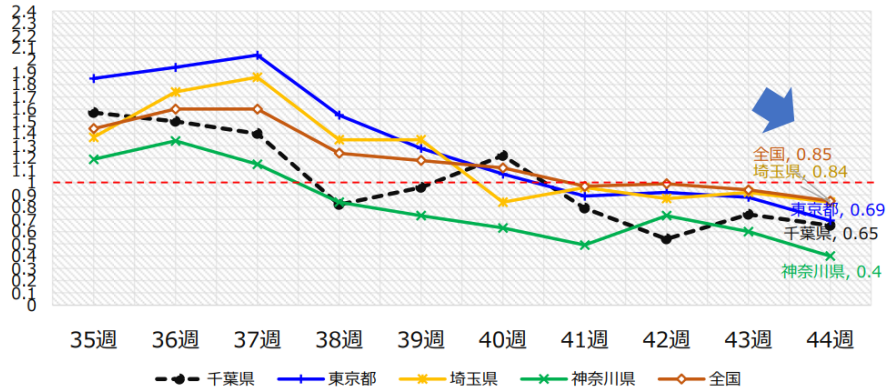
1. 小児COVID-19の現状
2. 小児COVID-19罹患後の発熱に関する注意点
  - (1) 再感染
  - (2) 小児多系統炎症性症候群 (MIS-C)
- 3. その他の感染症**
4. 市内保育士さんからの質問&回答

# 地域のウイルス感染発生状況（11月下旬～）



# RSV感染症

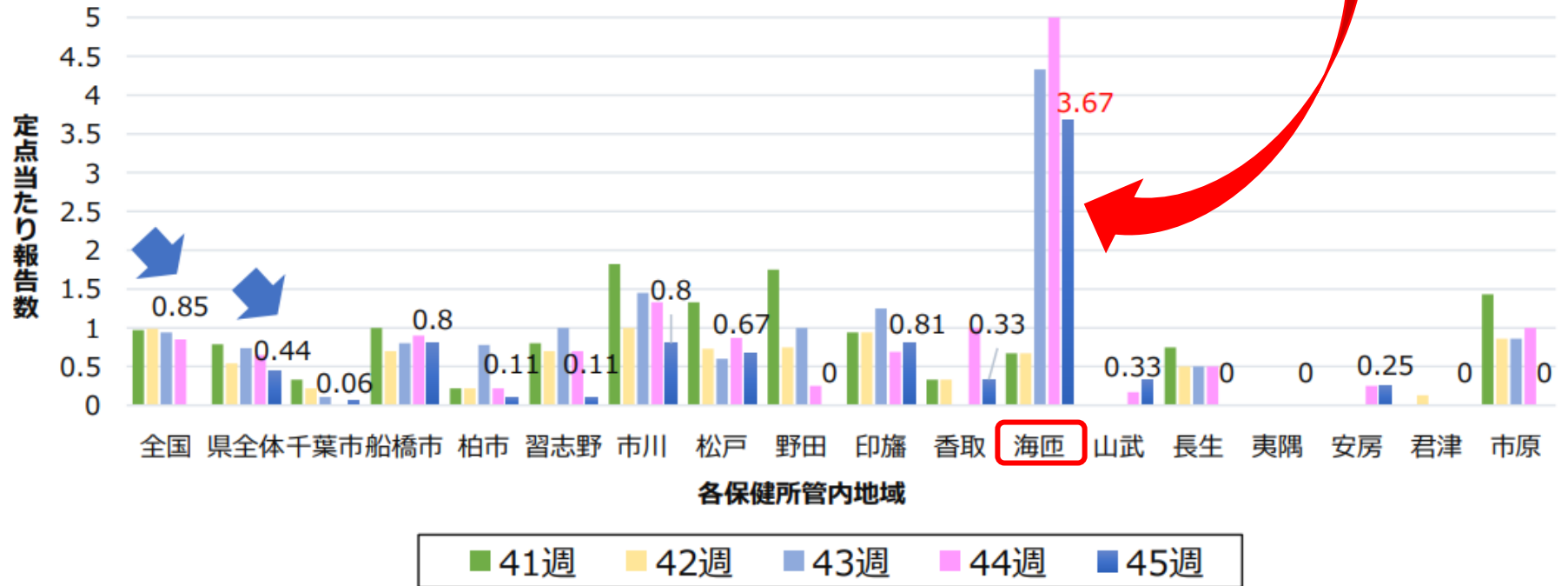
2022年35週～44週におけるRSV感染症の定点当たり報告数【一都三県】



11月～千葉県内で何故か海匝地区だけで流行！

1都3県で収束傾向

2022年41週～45週におけるRSV感染症の定点当たり報告数



# RSV感染症

- 乳児の細気管支炎(呼吸困難)の主要な原因
- 喘息発作の誘因としても重要、心疾患があると怖い
- 主な症状は咳、熱は半数
- 感染力が強い
- 2歳までに一度は罹患し、生涯に何度も罹患する
- 4年前までは秋～冬に流行、最近は春～秋に流行





# ヒトメタニューモウイルス感染症

- RSウイルスの親戚
- 乳幼児の気管支炎・肺炎の主要な原因
- サーベイランスの対象外
- 主な症状は咳、熱は半数以上、長い
- 感染力が強い
- コロナ前はインフルエンザ流行後、春に流行

# ノロウイルス胃腸炎

- 毎年12月～1月に流行
- 激しい嘔吐、下痢は軽い
- 感染力が強い
- アルコール消毒が効かない  
(次亜塩素酸は有効)
- 乾燥した生活環境で生存可能



# インフルエンザ

## 【速報】インフルエンザで学級閉鎖 市川の保育所 千葉県内今季初、約2年9カ月ぶり 県「同時流行も懸念」

12/2(金) 18:00 配信



### 千葉日報



千葉県庁

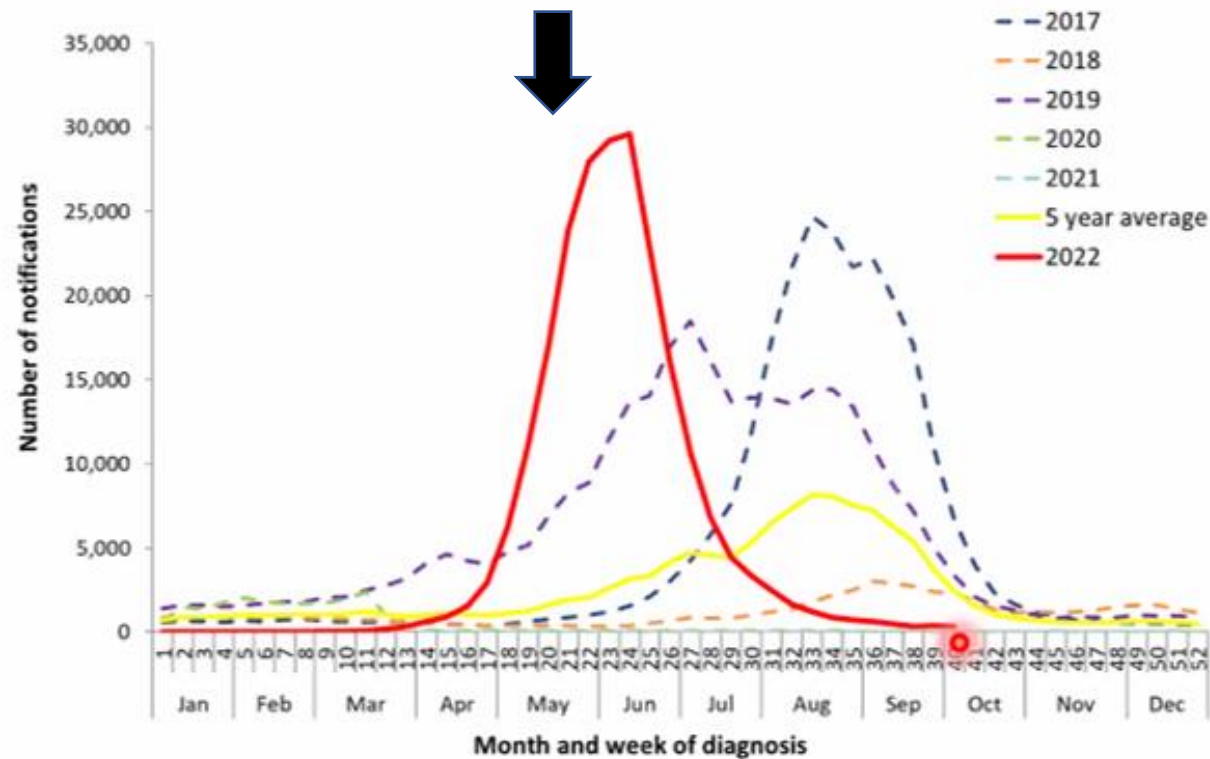
千葉県は2日、市川市の私立幼稚園の年中クラスで、インフルエンザによる欠席者が相次いだため、1～4日の期間を学級閉鎖にしたと発表した。県内でのインフルエンザによる学級閉鎖は今季初。2020年3月以来、インフルエンザによる学級閉鎖の報告はなく、約2年9カ月ぶり。県疾病対策課は、今後インフルエンザの流行シーズンに入ると見通し「新型コロナとの同時流行も懸念される。改めて感染対策を」と呼びかけている。

同課によると、11月30日～12月2日に、同クラスに在籍する園児25人のうち6人と、職員2人がインフルエンザと診断された。いずれも発熱や咳などの症状があるが、重症者はいないという。

# その他の感染症：インフルエンザ

オーストラリア（南半球）では3年ぶりに大流行

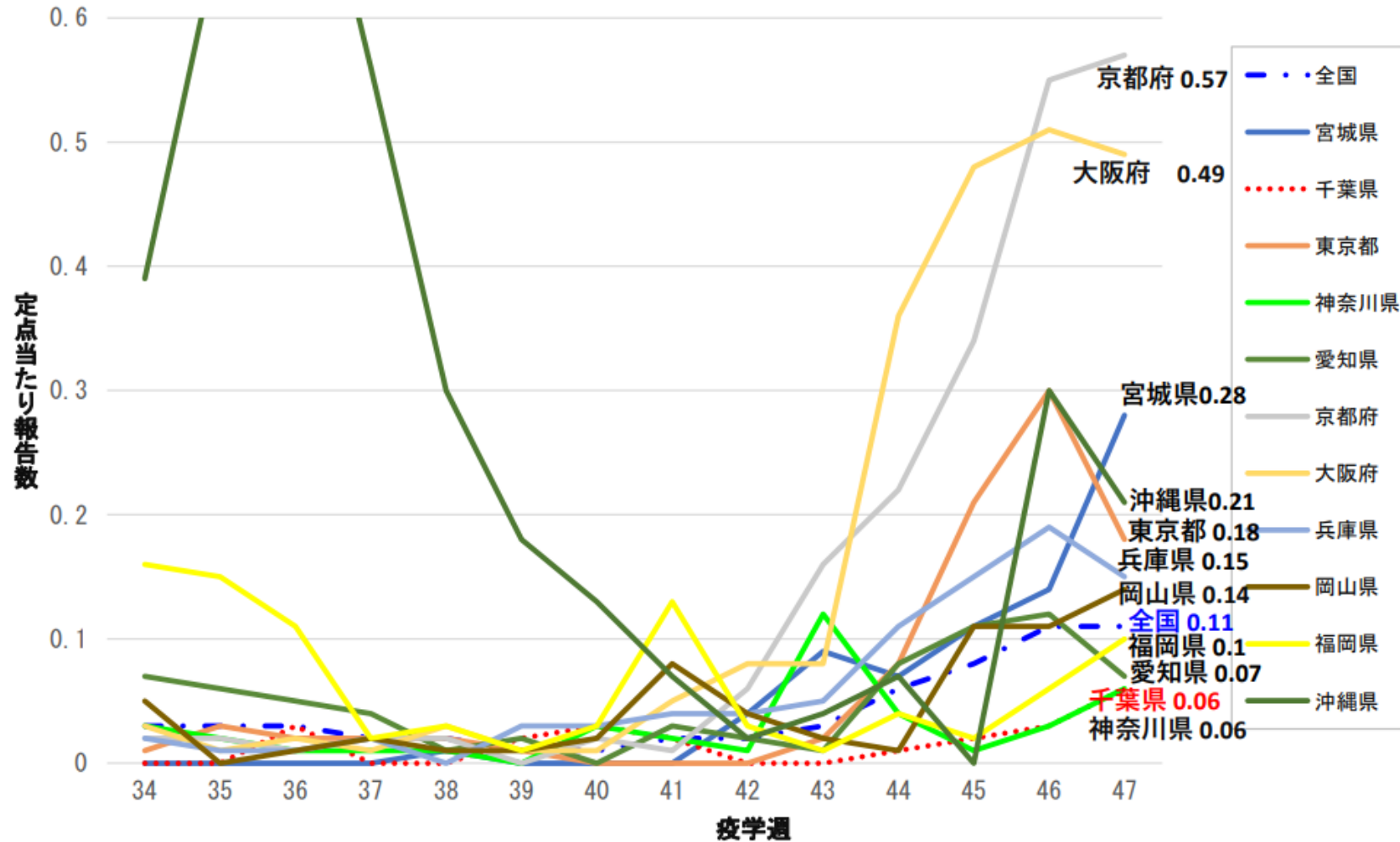
Figure 4. Notifications of laboratory-confirmed influenza, Australia, 01 January 2017 to 09 October 2022, by month and week of diagnosis\*



Source: NNDSS

# インフルエンザ

図：47週時点の全国各都府県の定点当たり報告数



・千葉県は今週(48週)は  
定点当たり**0.09人**で増加  
0.03→0.06→0.09

・関西地方で多く、京都府、  
大阪府等で定点当たり**0.5人**  
**程度**

・まだ全国的に患者報告数  
は少ないが初期の増加兆候  
が見受けられる

# わが国における小児の死亡原因

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0歳	先天奇形等	呼吸障害等	不慮の事故	乳児突然死	出血性障害等
1～4歳	先天奇形等	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	インフルエンザ
5～9歳	悪性新生物	不慮の事故	先天奇形等	心疾患	インフルエンザ
10～14歳	悪性新生物	自殺	不慮の事故	先天奇形等	心疾患
15～19歳	自殺	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	先天奇形等

人口統計資料集（2021）, 厚労省

単独の疾患で小児の死亡原因5位以内にランクイン⇒インフルエンザのみ



# 子どもにとってコロナとインフルエンザ、どっちが怖い？

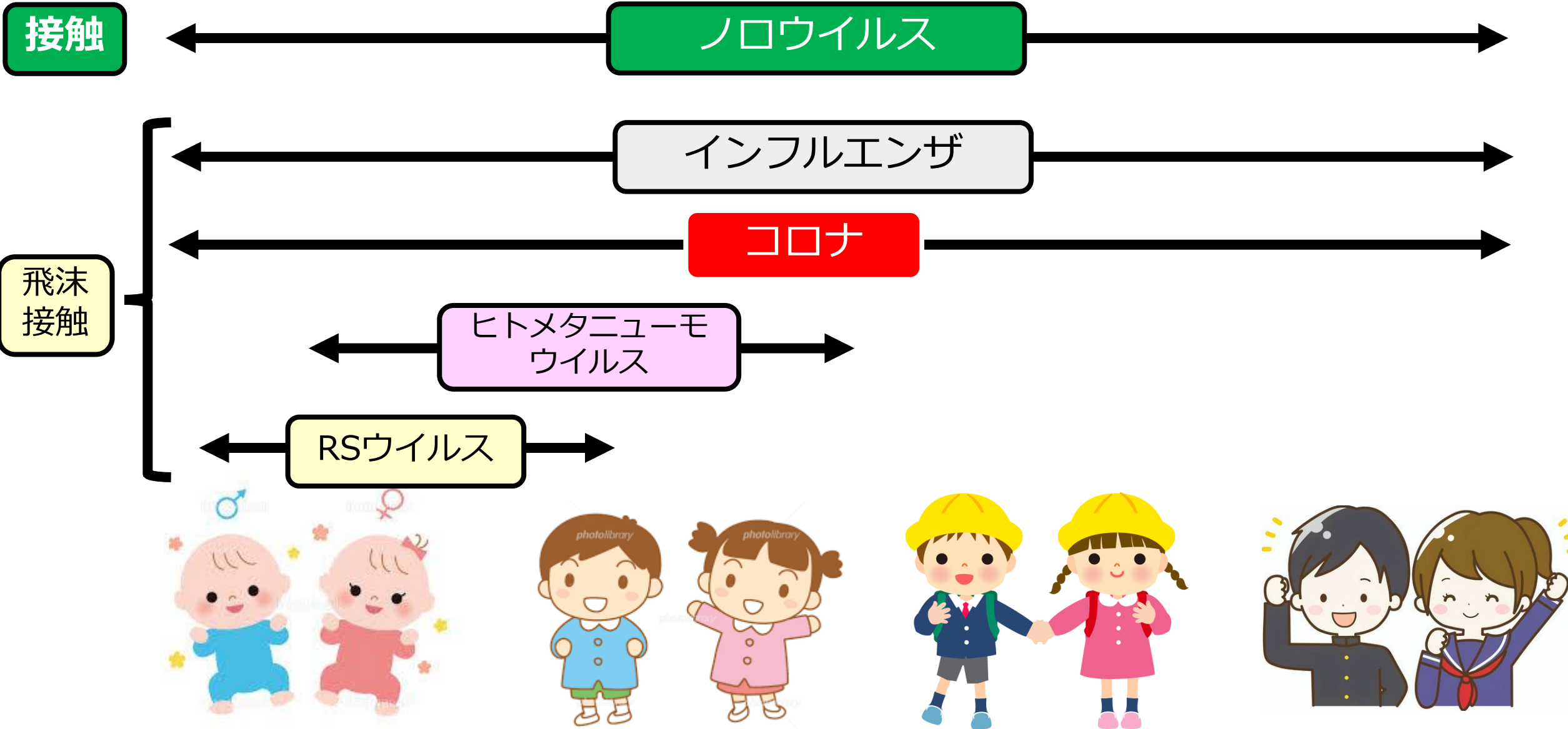
## 国内小児におけるCOVID-19とインフルエンザの死亡例の比較

疾患	死亡			主な後遺症
	年間死亡数	調査期間	死亡年齢の特徴	
COVID-19	6	2020年1月～ <u>22年6月</u>	10歳未満7人 10代 8人	Long COVID (小児では少ない)
インフルエンザ	62	2019年1月～12月	1～4歳 32人 5～9歳 14人	脳症後遺症

長崎大学医学部小児科森内先生の試算（母子保健 2022年8月号）

7月以降COVID-19の小児死亡例が増加⇒ほぼ同等？

# 小児ウイルス感染症の好発年齢



# もくじ

1. 小児COVID-19の現状
2. 小児COVID-19罹患後の発熱に関する注意点
  - (1) 再感染
  - (2) 小児多系統炎症性症候群 (MIS-C)
3. その他の感染症
4. 市内保育士さんからの質問&回答

# 保育士さんから頂いた質問

Q1：病院でのコロナの検査について、適応など

Q2：乳幼児のワクチンについて、接種率、副反応など

Q3：園でかぜ症状があった際、家族に発熱者がいる場合の対応

Q4：園での感染対策、マスク、黙食など

Q5：小児コロナの後遺症

Q6：無症状の児から、療養期間終了後の児から感染はあるのか？

Q7：他のウイルスとの同時感染について

# 忙しすぎる日本の保育士さん

国の配置基準		NHK
	子ども	保育士1人
0歳児	3人	1人
1・2歳児	6人	1人
3歳児	20人	1人
4・5歳児	30人	1人



1948年から変わらず、先進国平均の約2倍

# 保育士さんからのご質問 Q1：検査

## ●迅速抗原検査(定性、定量)

## ●積極的に検査をする時

- ①接触歴, 流行歴がある
- ②症状が典型的: 咽頭痛と発熱(インフルエンザに類似)
- ③経過から、他の感染症が否定的

基本的には  
(保護者の希望)  
担当医の判断

## ●積極的には検査をしない時

- ①他の疾患の可能性が高い(扁桃炎、中耳炎、など)
- ②接触・流行情報と症状から否定的(2歳以下、発熱+咳が酷い⇒RSウイルス)

## ●結果の判断

発症後時間(<12時間)⇒**疑陰性**、家族全員に症状あり一人だけ陰性⇒**偽陰性**



# 保育士さんからのご質問 Q2：ワクチン接種

2022年10月24日

生後6か月から4歳のお子様  
保護者の方へ

## 新型コロナワクチン接種 についてのお知らせ



生後6か月から4歳のお子様も  
新型コロナワクチンを受けられるようになりました。  
ワクチンを受けるか、ぜひご確認ください。

接種当日は母子健康手帳もご持参ください。

## 日本小児科学会より

ワクチンは、オミクロン株流行下においても効果が期待でき、安全性についても、臨床試験の結果に基づいて、大きな懸念はないとされています。また、アメリカなどで、日本と同じワクチンが承認されており、生後6か月から4歳に対する接種が開始されています。  
効果と安全性が確認されているワクチンの接種を、学会としてもおすすめします。



Q 今回のワクチン接種の「努力義務」とは何ですか。

A 「接種を受けるよう努めなければならない」という予防接種法の規定のことで、義務とは異なります。感染症の緊急のまん延予防の観点から、皆様に接種にご協力をいただきたいという趣旨から、このような規定があります。

# 保育士さんからのご質問 Q2：ワクチン接種

**350,810,976回接種（12月2日発表）**

	全体		うち高齢者※3		5～11歳		6か月～4歳	
	回数	接種率	回数	接種率	うち小児接種※4		うち乳幼児接種※5	
					回数	接種率	回数	接種率
総接種回数	350,810,976	—	136,716,402	—	3,740,283	—	43,780	—
うち1回以上接種者	104,408,964	81.4%	33,269,142	92.6%	1,698,626	23.2%	41,875	0.9%
うち2回接種完了者	103,000,907	80.4%	33,185,214	92.4%	1,620,246	22.1%	1,905	0.0%
うち3回接種完了者	84,379,916	67.0%	32,637,745	90.8%	421,411	5.8%	0	0.0%
うち4回接種完了者	49,084,862	—	28,993,999	—				
うち5回接種完了者	9,936,327	—	8,630,302	—				

**旭市：約50%**

# 保育士さんからのご質問 Q2：ワクチン接種

## 接種の対象と使用するワクチン・接種間隔

- ◎ **接種の対象** 生後6か月から4歳のお子様を対象です。
- ◎ **使用するワクチン** ファイザー社の6か月～4歳用のワクチンを使用します。乳幼児用のワクチンです。
- ◎ **接種間隔** 生後6か月から4歳のお子様は、**合計3回接種**して、初回接種が完了します(※)。  
**3回で1セットですので、早めの接種予約をご検討ください。**  
(※) 5歳以上の方の初回接種は1・2回目接種の合計2回です。

1回目接種後、通常3週間あけて2回目を受け、2回目接種後、8週間あけて3回目を受けます。通常の間隔を超えた場合には、なるべく速やかに接種してください。



(※) 最短で19日後からの接種が可能です。例の場合、11月22日が11月20日になります。

# 保育士さんからのご質問 Q2：ワクチン接種

## 新型コロナワクチンの効果

### Q. 新型コロナワクチンは、どんな効果がありますか？

A. 生後6か月から4歳の乳幼児に対して、ワクチンの効果や安全性を確かめる研究(臨床試験)が海外の複数の国々で行われました。

新型コロナワクチンを受けることで、新型コロナに感染しても **症状が出にくくなる効果(発症予防効果)** がどれくらいあるかについて、約1,100人程度の乳幼児を対象に分析したところ、3回目接種後7日以降の効果は73.2%と報告されています。

出典：審査報告書より

●インフルエンザワクチンより発症予防効果は高そう

●ただし、効果の持続期間は長くない

# 保育士さんからのご質問 Q2：ワクチン接種

## 新型コロナワクチンの安全性

Q. 生後6か月から4歳の子どもが新型コロナワクチンを受けた後は、どんな症状が出ますか？

A. ワクチンを受けた後の症状について調べた臨床試験で、1～3回目の接種後の具体的な症状をみると、接種回数ごとの症状にはあまり変わりがなく、ほとんどの症状が軽度または中等度でした。  
現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められません。

〈接種後7日間に現れた症状〉

年 齢	症 状 (発現割合：1回目接種後→2回目接種後→3回目接種後)	
生後6か月～1歳	易刺激性(※1)	51.2%→47.4%→43.6%
	食欲減退	22.2%→22.2%→20.2%
	傾眠状態(※2)	27.0%→23.8%→19.9%
	圧 痛	16.6%→15.0%→16.0%
2歳～4歳	疼 痛	30.8%→31.0%→26.7%
	疲 労	29.7%→25.7%→24.5%
	発 赤	8.8%→11.4%→10.9%
	下 痢	7.7%→ 6.7%→ 5.1%
	発 熱	5.2%→ 4.9%→ 5.1%
	頭 痛	4.5%→ 4.6%→ 4.9%
	腫 脹(※3)	3.7%→5.7%→3.1%
嘔 吐	3.0%→3.4%→1.6%	
悪 寒	2.3%→3.0%→3.3%	
筋肉痛	2.4%→2.6%→2.0%	
関節痛	0.8%→1.4%→1.3%	

(※1) 機嫌が悪い (※2) 眠たくなる様子 (※3) 注射部位の腫れ

出典：審査報告書より

- 重篤な副反応は報告されていない
- 接種翌日に特別な配慮は不要



# 保育士さんからのご質問 Q3 : 園でかぜ症状があった際、家族に発熱者がいる場合の対応

## Q3 : 園でかぜ症状があった際

A : 発熱や酷い咳⇒休園指導

鼻水⇒基本的には許容、保護者様と相談

## Q3 : 家族に発熱者がいる場合の対応

A : コロナ/インフルエンザ濃厚接触の可能性あり⇒休園？

その他⇒保護者様と相談

# 保育士さんからのご質問 Q4：園での感染対策

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

## 3つの「密」を避けましょう！

①換気の悪い  
密閉空間



②多数が集まる  
密集場所



③間近で会話や  
発声をする  
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。  
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が  
クラスター(集団)発生の  
リスクが高い！

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には  
消毒などを行ってください。



## ●「密閉」の回避(換気の徹底)

換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに(30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する)、2方向の窓を同時に開けて行うようにします。

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～ (2022.4.1 Ver.8)



# 保育士さんからのご質問 Q4：黙食

●文科省通達(令和4年11月29日)、抜粋

飲食の場面における感染対策について【基本的対処方針p25】

今般の変更前の基本的対処方針においては、「二(5)1)国民への周知等」として、「国民に対し、基本的な感染対策を徹底することに加え、飲食はなるべく少人数で黙食を基本とし、会話をする際にはマスクの着用を徹底すること(中略)等を促す。」とされていましたが、今般の変更により当該記述が削除されました。

実際にも、一部の地域において行われているように、座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じた上で、給食の時間において、児童生徒等の間で会話を行うことも可能ですので、感染状況も踏まえつつ、地域の実情に応じた取組を御検討いただくよう、よろしくお願いいたします。

# 保育士さんからのご質問 Q4：手洗い

## 手洗いの6つのタイミング

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻をかんだとき



給食（昼食）の前後



掃除の後



トイレの後



共有のものを触ったとき





# 保育士さんからのご質問 Q4：マスク

新型コロナウイルス感染症対策

## 屋外・屋内でのマスク着用について

○マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。

○屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

○屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保でき、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。



	距離が確保できる	距離が確保できない
会話をする	マスク不要なし 	マスク着用推奨 
会話をほとんど行わない	マスク不要なし 	マスク不要なし 

公園での散歩やランニング、サイクリングなど  
徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面

	距離が確保できる	距離が確保できない
会話をする	マスク着用推奨 	マスク着用推奨 
会話をほとんど行わない	マスク不要なし 	マスク着用推奨 

※十分な換気など感染防止対策が講じられている場合は例外することも可

距離を確保して行う図書館での読書、芸術鑑賞

通勤ラッシュ時や人混みの中ではマスクを着用しましょう


高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。  
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。

夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

新型コロナウイルス感染症対策

## 子どものマスク着用について

人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。



### 就学児について (小学校から高校段階)

#### マスク着用の必要がない場面



- 屋外**
- ・人との距離が確保できる場合
  - ・人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合  
 <例>離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び  
 <例>屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）
- 屋内**
- ・人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合  
 <例>個人で行う読書や調べ学習

**学校生活** 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際

※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、密閉空間が作成するガイドライン等を確認しましょう

※活動中以外の練習場所での更衣室、食事の場などで移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を講じましょう

### 高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。


#### 保育所・認定こども園・幼稚園等の 就学前児について

- 2歳未満  
マスクの着用は推奨しません。
- 2歳以上の就学前の子ども  
他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めていません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。

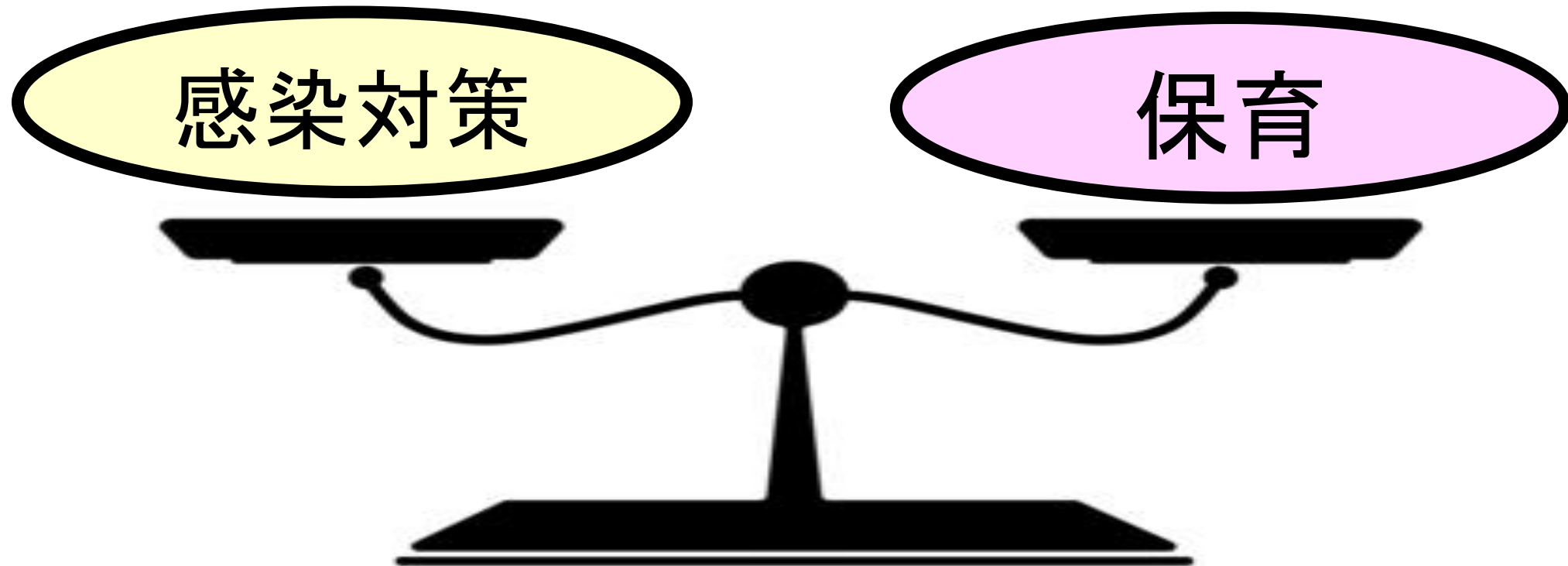
マスクを着用しなくても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

※その他状況に応じて、講じられている対策がある場合は、それを実施をお願いします。



# 保育士さんからのご質問

流行状況をみながらメリハリをつけた感染対策



# 保育士さんからのご質問 Q5：小児コロナの後遺症

## 新型コロナウイルス感染症の後遺症（Long COVID）

### 主な症状

- ・ 倦怠感
- ・ 頭痛
- ・ 睡眠の異常
- ・ 息切れ
- ・ 微熱
- ・ 関節痛
- ・ 長引く咳
- ・ 動悸
- ・ 息切れ
- ・ 耳鳴り
- ・ 腹痛
- ・ 胸痛
- ・ 関節痛
- ・ 脱毛

### 小児の特徴

- ・ 国内のまとまったデータなし
- ・ 小児では少ない
- ・ 小中学生以上
- ・ **頭痛 > 倦怠感 > 睡眠異常**
- ・ 2か月を超えることは少ない



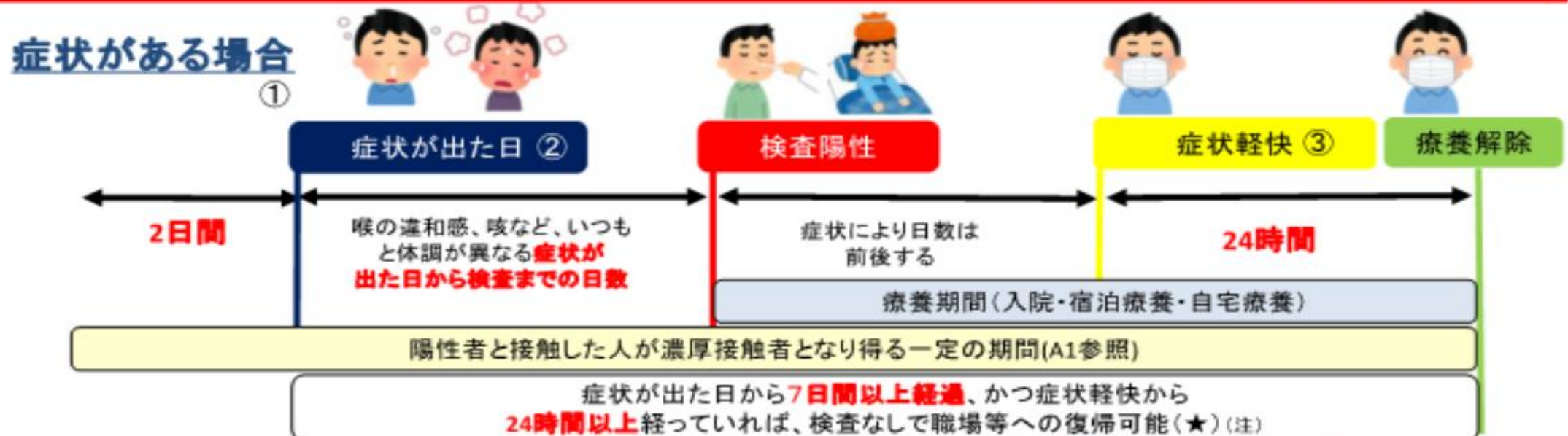
# 保育士さんからのご質問 Q6 : 無症状の児から、療養期間終了後の児から感染はあるのか？

- 無症状の児からの感染⇒**感染者の発症2日前から感染性あり**
- 療養期間終了後の児からの感染⇒**可能性はかなり低い**

## 新型コロナウイルス感染症 陽性だった場合の療養解除について

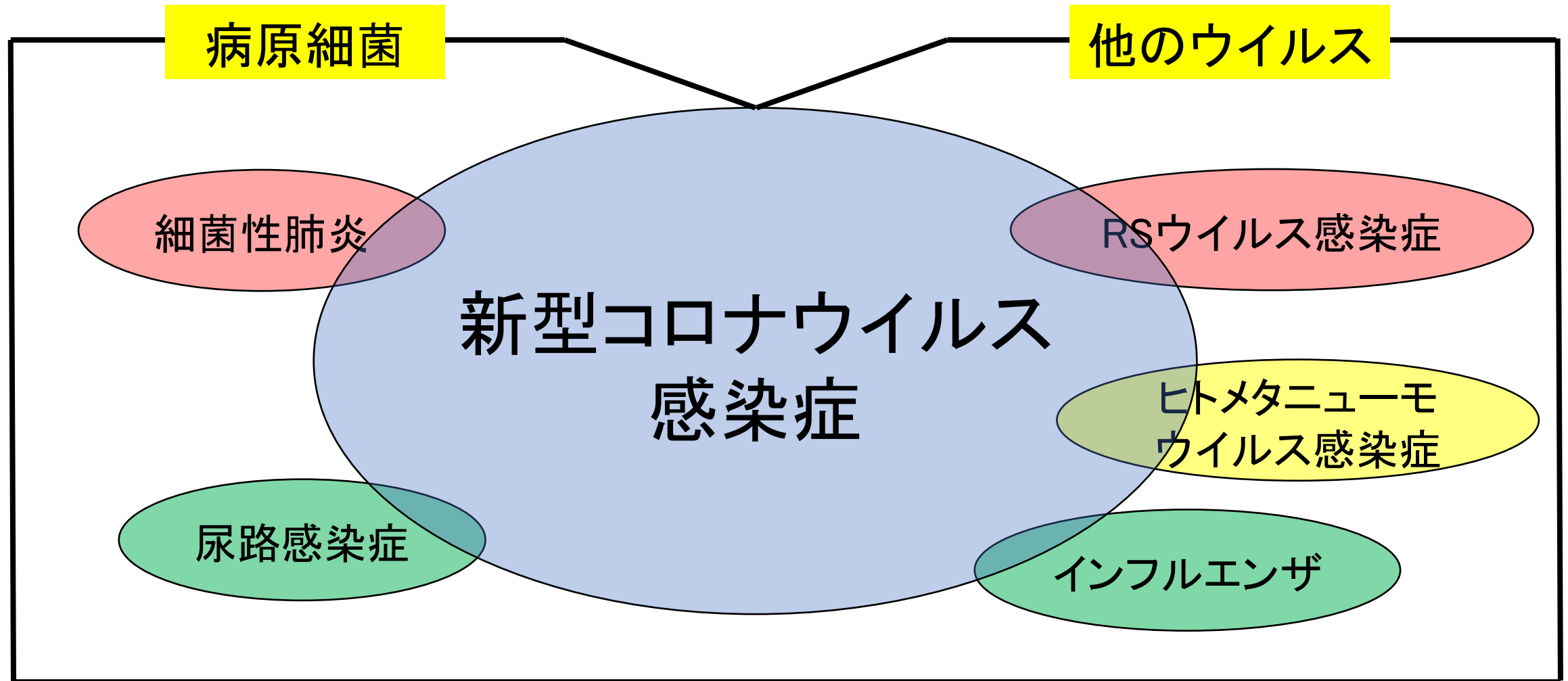
(★)症状がある場合は10日間、症状がない場合は7日間が経過するまでは、**感染リスクがあります。**

検温など自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避けること、マスクを着用すること等、**自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。**



(注)入院している方や高齢者施設に入所している方は、症状が出た日から**10日間以上経過**、かつ症状軽快から**72時間以上経てい**れば、検査なしで職場等への復帰可能

# 保育士さんからのご質問 Q7：同時感染



●他の病原体との同時感染はインフルエンザに較べとても少ない印象



# 小学校の先生からのご質問

Q1 : 下校後の机の消毒

A : 感染対策上は意味はほとんどないと思います

Q2 : 学校での手をつなぐ活動

A : どんどんやって下さい

Q3 : コロナとインフルエンザ同時感染時の登校再開

A : 長いほう（コロナ）の欠席義務のしたがつて

# 日本小児科学会から保護者の皆様へ（11月2日）

今年の冬は、日本においても今後インフルエンザが流行すると予測されており、新型コロナウイルス感染症との同時流行になるのではないかと危惧されています。（中略）

この2つの病気が同時に流行すると、熱を出した子どもが病院、診療所を問わず、発熱外来のある小児科や小児救急外来に殺到し通常の小児科診療が行えない状態になり、尊い命を救うための医療の提供も難しい事態となる可能性があります。そのような事態を防ぐためにはインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の予防が重要となります。（中略）

**インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの感染症の予防にはワクチン接種が最も有効です。**

# まとめ

- 国内では、第7波以降、小児COVID-19の重症例・死亡例が増加
- 地域では、COVID-19以外の様々なウイルス感染症が出現
- 保育・教育現場では、流行状況に応じたメリハリをつけた対策
- ワクチンは最も有効な感染予防・重症化予防策